

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・2月末で県独自の緊急事態宣言が解除され、3月のギフト需要シーズンは百貨店にとって年間でもモチベーションが高く、売上が確保できる月として期待が高まっている。期待どおり返礼ギフトの順調な動きと物産催事の動員効果で、前年を上回る売上が確保できている。
	○	一般小売店 [酒]（店長）	販売量の動き	・緊急事態宣言解除後、少しずつ観光客も増えてつつある。
	○	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・夕方から夜間の来客数が増えている。弁当の売上が前年同期比で増加している。
	○	コンビニ（副店長）	販売量の動き	・沖縄県独自の緊急事態宣言が前月末で解除され、人通りも前月と比べものにならないくらいにぎわっている。また来客数も2倍近く増加している。
	○	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・東京の緊急事態宣言が解除され、3月中盤以降は観光客が沖縄に流れてきているので少し売上も戻ってきている。
	○	家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響から一巡してきている。前年はなかった入園入学商材の動きが好調である。
	○	その他飲食[居酒屋]（経営者）	来客数の動き	・沖縄の緊急事態宣言が解除されてから、地元客が徐々に戻ってきている。また、観光客もちらほらと増えており、入客も例年の50%、観光客が多い店舗は80%程度まで戻ってきている。
	○	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・販売量が前年比で120%と好調である。3月の学生需要と、新しい料金プランが客の支持を受けキャリア自体の好感度が上がったことや、新型コロナウイルス禍で外食やレジャーで消費できない部分が回ってきている可能性が考えられる。
	○	住宅販売会社（役員）	来客数の動き	・企業の転勤等に伴う賃貸住宅の成約も前年より多い。また、住宅販売の問合せも多くなっている。
	□	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症に関する自粛モードが解消されず、来店客の人数等は日々の増減はあるものの、最終的には以前と変わらない状態である。来客数1000人を割る日が月の半数もあることで、個人々の新型コロナウイルス感染に対する考え、外出に対する意識は戻らない状態にある。
	□	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・観光向けレンタカー会社はまだ購入を控えているが、一般客の購入意欲は高い。
	□	旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・少しずつ販売量は増えてきているが、必要最小限が多い。回復にはまだまだ時間が掛かる。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	販売量の動き	・戸建て住宅や投資建築物の建築受注が順調である。
	▲	スーパー（企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス禍で客の来店頻度が落ち込み、苦戦する。
	▲	観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・3月も緊急事態宣言の延長により、首都圏からの観光客やビジネス客は増えていない。併せて緊急事態宣言が出ていないエリアからの客も動いていない。若い層の卒業旅行により若干動きはある。沖縄県内も、緊急事態宣言は解除されたが、夜の宴会は0件である。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・現在新型コロナウイルスが、営業時間等に影響していることに伴って来客数が減り、客単価も落ちている。小売店は特に大変な状態となっている。	
×	観光型ホテル（企画担当）	販売量の動き	・ホテルの12月の販売室数が前年比20%増とプラスなのに対し、3月の販売室数は前年比36%減とマイナスに転じている。	
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－	－
	○	食料品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・今月に入り緊急事態宣言が解除され、外食の需要や、観光客も若年層を中心に回復しており観光土産の売上も回復してきている。
	○	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・高価格帯での新規引き合いの相談が増えてきている。

	○	輸送業（経営企画室）	取引先の様子	・2月と比較すると助成金を受け取らずに開店している飲食店が目立っている。また、3月後半には観光客の増加が目立ち、景気はやや上向きになっているとみられる。
	□	窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・受注量は3か月前と比較しても変化がなく、特に民間工事の需要が新型コロナウイルスの影響で低調である。
	▲	*	*	*
	×	—	—	—
雇用 関連 (沖縄)	◎	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・今まで採用実績のなかった企業から、説明会の実施依頼が複数きている。
	○	人材派遣会社（経営者）	周辺企業の様子	・派遣依頼の増加が続いている。また経済の落ち込みに歯止めが掛かってきているように見受けられる。
	○	人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・求人案件が増えてきている。ただし人手不足感は否めない。
	○	求人情報誌製作会社（営業）	求人数の動き	・求人数は前年12月と比較すると、3月は108%と増加している。緊急事態宣言が明けた3月上旬頃から飲食店、サービス、接客業も徐々に増加している。ホテル、観光業界の採用もGo To Travelキャンペーンを見越してか、微増している。
	○	学校〔大学〕（就職支援担当）	求職者数の動き	・2022年新卒対象就職活動の開始とともに、3か月前と比べると求人数が増えつつある。
	□	—	—	—
	▲	—	—	—
	×	—	—	—